



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社ベルーナ

上場取引所

東

コード番号 9997

URL <http://www.belluna.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安野 清

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 松田 智博

(TEL) 048-771-7753

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	86,222	8.9	3,863	0.4	3,296	△50.2	1,678	△60.3
2019年3月期第2四半期	79,161	5.7	3,850	△9.0	6,618	19.6	4,228	△2.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 876百万円(△80.6%) 2019年3月期第2四半期 4,526百万円(△0.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	17.35	—
2019年3月期第2四半期	43.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	219,100	100,359	45.5
2019年3月期	213,786	100,533	46.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 99,721百万円 2019年3月期 99,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
2020年3月期	—	8.00			
2020年3月期(予想)			—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	185,000	4.1	14,000	16.6	15,000	△2.0	10,500	1.5	108.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	97,244,472株	2019年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	587,185株	2019年3月期	186,254株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	96,754,149株	2019年3月期2Q	97,237,271株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、内需にけん引される形で緩やかな回復基調が持続しております。景気の先行きについては、消費増税の影響で短期的には減速感が強まる可能性があるものの、消費増税対策により家計の負担増が緩和されることで、消費の大幅な落ち込みは回避され、消費増税下でも底堅い成長が続く見通しであります。一方で、米中貿易摩擦に伴う国内経済への影響など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。通信販売業界におきましては、電子商取引（EC）による市場の拡大は依然として続いているものの、天候不順や自然災害が頻発した影響に加え、カタログ通信販売においては、用紙代の高騰の影響など、引き続き厳しい状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力4事業（総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業）の強化に取り組んで参りました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は86,222百万円（前年同期比8.9%増）となりました。一方で、用紙代の値上げによる影響や、前期に取得したさが美グループホールディングス㈱について、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映されている影響などで営業利益は3,863百万円（同0.4%増）となりました。また、為替相場の変動による損益が前期とは逆にマイナスとなり、経常利益は3,296百万円（同50.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,678百万円（同60.3%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

〔総合通販事業〕

用紙代の値上げに伴うカタログ等の発行部数抑制の影響などにより、売上高は35,535百万円（同1.3%減）となり、セグメント利益は296百万円（同64.4%減）となりました。

〔専門通販事業〕

化粧品事業、ワイン事業を中心に好調に推移し、売上高は22,697百万円（同5.5%増）となり、セグメント利益は1,586百万円（同33.0%増）となりました。

〔店舗販売事業〕

前期に取得したさが美グループホールディングス㈱について、費用が先行する第1四半期の損益が当期より反映される影響などで、売上高は15,666百万円（同30.1%増）となったものの、セグメント利益は342百万円（同56.7%減）となりました。

〔ソリューション事業〕

通販代行サービス事業及び封入・同送サービス事業が共に好調に推移し、売上高は3,764百万円（同38.2%増）となり、セグメント利益は1,224百万円（同20.7%増）となりました。

〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高を伸ばしたことにより、売上高は2,124百万円（同14.3%増）となり、セグメント利益は832百万円（同2.5%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

前期に開業したホテルが売上に寄与したことに加え、当期は新規ホテルの開業費用が無いことなどにより、売上高は4,452百万円（同37.6%増）となり、セグメント利益は300百万円（同64.2%増）となりました。

〔その他の事業〕

卸売事業を展開するフレンドリー㈱が大ロクライアントの事業撤退などにより苦戦したものの、当社卸売事業においてインテリアの販売が好調に推移し、売上高は2,453百万円（同5.1%増）となりました。一方で、費用が先行して発生する衣裳レンタル事業の拡大の影響により、セグメント損失は542百万円（前年同期は526百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比558百万円増加し、99,803百万円となりました。これは主に現金及び預金が3,295百万円減少した一方で、営業貸付金が1,785百万円、商品及び製品が1,819百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比4,754百万円増加し、119,297百万円となりました。これは主に建設仮勘定が3,402百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比5,313百万円増加し、219,100百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比11,043百万円増加し、64,506百万円となりました。これは主に未払法人税等が1,964百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が1,647百万円、短期借入金が11,508百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比5,555百万円減少し、54,234百万円となりました。これは主に長期借入金が5,649百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比5,487百万円増加し、118,741百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末比174百万円減少し、100,359百万円となりました。この結果、自己資本比率は45.5%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ、3,057百万円減少し、18,293百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、258百万円(前年同期は1,235百万円の増加)となりました。主たる減少要因は営業貸付金の増加1,758百万円、たな卸資産の増加1,295百万円、その他流動負債の減少1,367百万円、法人税等の支払額2,032百万円などであります。一方で、税金等調整前四半期純利益3,250百万円、減価償却費1,595百万円、仕入債務の増加1,701百万円などが主な増加要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、7,025百万円(前年同期は10,472百万円の減少)となりました。主たる減少要因は、有形固定資産の取得による支出6,634百万円、投資有価証券の取得による支出1,279百万円などであります。一方で、投資有価証券の売却による収入1,211百万円などが主な増加要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、4,425百万円(前年同期は4,811百万円の増加)となりました。主たる増加要因は、短期借入金の純増額2,150百万円、長期借入れによる収入6,617百万円などであります。一方で、長期借入金の返済による支出3,014百万円などが主な減少要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月13日の公表から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,071	18,776
受取手形及び売掛金	9,739	10,605
営業貸付金	23,781	25,567
有価証券	1,197	840
商品及び製品	20,855	22,675
原材料及び貯蔵品	1,464	1,113
販売用不動産	3,418	3,401
仕掛販売用不動産	6,662	7,283
その他	10,597	10,127
貸倒引当金	△544	△589
流動資産合計	99,244	99,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,960	29,824
機械装置及び運搬具（純額）	735	867
工具、器具及び備品（純額）	1,226	1,845
土地	43,646	43,711
リース資産（純額）	215	175
建設仮勘定	8,420	11,823
有形固定資産合計	83,204	88,246
無形固定資産		
のれん	2,293	2,453
リース資産	596	737
その他	8,364	8,081
無形固定資産合計	11,253	11,273
投資その他の資産		
投資有価証券	12,428	12,468
長期貸付金	1,799	1,758
破産更生債権等	206	180
繰延税金資産	1,585	1,372
その他	4,689	4,596
貸倒引当金	△626	△599
投資その他の資産合計	20,084	19,777
固定資産合計	114,542	119,297
資産合計	213,786	219,100

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,093	18,740
短期借入金	14,368	25,876
未払費用	10,043	9,604
リース債務	406	389
未払法人税等	3,652	1,687
賞与引当金	757	770
返品調整引当金	94	109
ポイント引当金	492	412
その他	6,554	6,916
流動負債合計	53,463	64,506
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	45,339	39,690
利息返還損失引当金	661	726
リース債務	425	532
退職給付に係る負債	236	190
役員退職慰労引当金	258	252
資産除去債務	914	919
その他	1,955	1,923
固定負債合計	59,790	54,234
負債合計	113,253	118,741
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,954	10,954
利益剰余金	80,816	81,767
自己株式	△167	△491
株主資本合計	102,215	102,843
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	672	917
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△2,988	△3,982
退職給付に係る調整累計額	△61	△49
その他の包括利益累計額合計	△2,385	△3,121
非支配株主持分	703	637
純資産合計	100,533	100,359
負債純資産合計	213,786	219,100

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	79,161	86,222
売上原価	34,146	36,011
売上総利益	45,015	50,210
返品調整引当金繰延差額	4	14
差引売上総利益	45,011	50,195
販売費及び一般管理費	41,161	46,332
営業利益	3,850	3,863
営業外収益		
受取配当金	178	127
為替差益	536	-
デリバティブ評価益	1,699	-
その他	574	374
営業外収益合計	2,988	501
営業外費用		
支払利息	79	86
為替差損	-	130
デリバティブ評価損	-	323
支払手数料	27	445
減価償却費	49	9
その他	64	72
営業外費用合計	220	1,069
経常利益	6,618	3,296
特別利益		
投資有価証券売却益	33	16
受取和解金	-	88
特別利益合計	33	105
特別損失		
固定資産除却損	110	11
減損損失	-	3
投資有価証券評価損	-	122
投資有価証券償還損	-	12
特別損失合計	110	151
税金等調整前四半期純利益	6,541	3,250
法人税、住民税及び事業税	2,181	1,565
法人税等調整額	96	33
法人税等合計	2,277	1,598
四半期純利益	4,263	1,651
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	35	△26
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,228	1,678

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	4,263	1,651
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	245
為替換算調整勘定	172	△1,032
退職給付に係る調整額	0	12
その他の包括利益合計	262	△775
四半期包括利益	4,526	876
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,455	942
非支配株主に係る四半期包括利益	70	△65

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,541	3,250
減価償却費	1,237	1,595
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	4	14
減損損失	-	3
のれん償却額	271	286
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△55	27
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△35	12
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19	△28
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	-	△6
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△21	△80
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	△21	65
受取利息及び受取配当金	△250	△185
支払利息	79	86
デリバティブ評価損益 (△は益)	△1,699	323
投資有価証券売却損益 (△は益)	△33	△16
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	122
投資有価証券償還損益 (△は益)	-	12
為替差損益 (△は益)	11	195
固定資産除却損	110	11
売上債権の増減額 (△は増加)	482	△805
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△1,203	△1,758
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,097	△1,295
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△353	△902
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	128	391
仕入債務の増減額 (△は減少)	18	1,701
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△173	△1,367
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	7	12
その他	4	△6
小計	2,933	1,663
利息及び配当金の受取額	231	184
利息の支払額	△78	△87
法人税等の還付額	47	14
法人税等の支払額	△1,898	△2,032
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,235	△258

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△191	△645
定期預金の払戻による収入	190	821
有価証券の取得による支出	-	△195
有価証券の売却による収入	100	685
有形固定資産の取得による支出	△3,813	△6,634
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△325	△424
投資有価証券の取得による支出	△439	△1,279
投資有価証券の売却による収入	206	1,211
子会社株式の取得による支出	△4,924	△549
貸付金の回収による収入	-	10
長期貸付けによる支出	△492	-
差入保証金の差入による支出	△625	△95
差入保証金の回収による収入	1	72
その他の支出	△159	△6
その他の収入	0	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,472	△7,025
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,971	2,150
長期借入れによる収入	5,668	6,617
長期借入金の返済による支出	△1,961	△3,014
自己株式の取得による支出	△0	△333
配当金の支払額	△607	△727
リース債務の返済による支出	△256	△267
その他の支出	△2	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,811	4,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	△200
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,417	△3,057
現金及び現金同等物の期首残高	22,028	21,351
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,610	18,293

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	35,712	21,455	12,040	2,593	1,859	3,204	2,294	—	79,161
セグメント間の内部 売上高又は振替高	304	66	—	129	—	30	39	△571	—
計	36,017	21,522	12,040	2,723	1,859	3,235	2,334	△571	79,161
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	832	1,193	791	1,014	812	183	△526	△449	3,850

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳△177百万とのれん償却費△271百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナンス 事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	35,338	22,628	15,666	3,676	2,124	4,403	2,383	—	86,222
セグメント間の内部 売上高又は振替高	197	68	—	88	—	49	70	△472	—
計	35,535	22,697	15,666	3,764	2,124	4,452	2,453	△472	86,222
セグメント利益 (又はセグメント損失△)	296	1,586	342	1,224	832	300	△542	△177	3,863

(注) 1. セグメント利益(又はセグメント損失△)の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳109百万とのれん償却費△286百万円であります。

2. セグメント利益(又はセグメント損失△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。